

科目名	身体・老年期障害作業治療学特論	担当教員	三宅 環 久保 勝幸 佐々木 努 山田 恭平 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----------------	------	---

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	4年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR42E	②、③					

科目概要	本講義では身体・老年期障害領域の作業療法で対象となる疾患の特徴や、作業療法支援の実際例を通して、具体的な治療展開、支援方法について理解を深める。また、文献検索、文献抄読、グループワーク、プレゼンテーションを通して、症例を深く掘り下げて考察することを学ぶ。また、臨床現場における事例のまとめ方や発表の方法についても学習する。この事例研究の過程を通して、身体・老年期障害領域における知識や実践方法についての探求心を深めていく。
学習目標	① 身体・老年期障害領域の病態を理解し、説明できる。 ② 認知症の生活支援について説明できる。 ③ 症例検討を通して治療目標、治療計画を適切に立案できる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	作業活動1	対象者のニーズに合わせた作業活動	講義及びグループワークを通して身体・老年期障害領域の病態を理解する。	
2	作業活動2	作業活動から対象者を選定する	講義及びグループワークを通して身体・老年期障害領域の病態を理解する。	
3	作業活動3	義肢、装具学から考える作業活動1	講義及びグループワークを通して適切な技術を身につけ実践できる。	
4	作業活動4	義肢、装具学から考える作業活動2	講義及びグループワークを通して適切な技術を身につけ実践できる。	
5	作業活動5	認知症の作業活動1	講義及びグループワークを通して適切な技術を身につけ実践できる。	
6	作業活動6	認知症の作業活動2	講義及びグループワークを通して適切な技術を身につけ実践できる。	
7	作業活動7	作業活動と画像診断1	講義及びグループワークを通して適切な技術を身につけ実践できる。	
8	作業活動8	作業活動と画像診断2	講義及びグループワークを通して適切な技術を身につけ実践できる。	
評価方法		課題提出 (100%)		
課題に対するフィードバック		講義中、講義終了後に適宜行い、試験に関しては試験終了後にオフィスアワーで対応する		
教科図書		指定しない (配付資料)		
参考図書		日本作業療法協会編『作業療法ガイドライン 2012年版』社団法人日本作業療法士協会、2012年		
学習の準備		予習：該当部分の専門基礎科目に関わる項目の知識を整理しておくこと (90分) 復習：講義での不明箇所を調べ、理解を深めること (90分)		

オフィスアワー	講義当日の 16 時 30 分～17 時 30 分、講義翌週当日の 16 時 30 分～17 時 30 分 ほか各担当教員から連絡する。
担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	